

株式会社ジェイコム東京 東エリア局・南エリア局・西エリア局

放送番組審議会 議事録

平成 30 年度(2018 年度) 株式会社ジェイコム東京 放送番組審議会は、2019 年3月29 日(金) ジェイコム東京 東エリア局にて開催された。

【放送番組審議会委員】

宮澤 誠一 様

臼井 素子 様

永田 浩三 様

藤山 健次郎 様

渡邊 嘉二郎 様

山下 隆久 様

松戸 克彦 様 欠 席

板倉 徳枝 様 欠 席

事業者側から J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】 進行：宮澤会長

■府中市内の取り組みについて

委員

「長つと散歩」では、市民が市長へ直接取材依頼をするなど行政も反響を実感している。

2019 年にラグビーワールドカップ、2020 年には東京五輪があるので「スポーツタウン府中」としても様々な取り組みを行っている。ラグビーはルールが難しいため敷居が高く、「府中ラグビースピリッツ」などで紹介する事でファンの裾野を広げて欲しい。「デイリーニュース」は地域密着で参考になっている。府中エリアでは「人図鑑」がないので、デイリーニュースで人や企業を取り上げて頂ければ、地域活性化に繋がるので検討頂きたい。

事業者

ラグビーはグループチャンネルの J SPORTS と一緒に力を入れて取り組んでいくので、協力をお願いしたい。

■練馬区内の取り組みについて

委員

練馬区では「区長を語る会」を定期的で開催しており、区民から区の情報は J:COM の番組で得ているという意見が増えてきた。「デイリーニュース」は練馬区以外に新座市、和光市の情報もあるため、番組が地域交流、事業展開、地域コミュニティの醸成に寄与できていると感じており感謝している。

番組では、お知らせをしたい事よりも地域の方が知りたいことに視点を置き情報発信を協業していきたい。

「練馬こぶしハーフマラソン」はランナーから応募者が多く、生中継でボランティア活動や地域の魅力に焦点を当てて紹介してくれているのでありがたい。

区報やホームページで情報発信をしているが、J:COM 番組も区の情報発信の 1 つのツールとして考えているので、地域の魅力ある活動の発信を今後も協力頂きたい。

■杉並区内の取り組みについて

委員

放送内容には満足しており追加の要望はなく、良い番組を作ってくれていると感じている。

「デイリーニュース」は区が把握している情報以上に発信しており、毎日番組を観ている。TV という枠を超えて J:COM の地域情報アプリ「ど・ろーかる」で時間を問わず観られるのが良い。視聴手順を区民に案内する機会もあり、ダウンロードなど更に手順が簡単になると更に良い。番組を観た人がイベントに行こうなど、次のアクションに繋がることを意識して情報発信して頂きたい。ニュースは過去の出来事になってしまうためイベント情報など増やして欲しい。地域スポーツは関心が高いので、今後も情報提供するので更なる発展に期待している。

事業者

デイリーニュースでは地域に入り込む事を主眼に、過去のニュースだけではなく未来系の情報にも注力している。番組のインターネット配信は肖像権の問題があるので、J:COM のアプリを使い視聴しやすい環境を整えている。視聴手順の課題は簡単になるように改良を検討したい、現在、防災情報の新機能を開発中であり、より地域に根ざしたアプリへと改善していく。

■番組の要望について

委員

地域情報の告知も良いが、市民の素顔を独自の視点で発掘することも大切、今後の課題として検討を。

肩書きに捕らわれず、街の面白い人物を取り上げて欲しい。

杉並のデイリーを拝見しているが、イベントだけではなく振込み詐欺など安心・安全情報が良かった。

事業者

アプリで視聴者投稿の機能があり、活用して頂き一緒にチャンネルを作って頂きたい。これを活用する事で台風や交通障害など有事の際には、地域の方から情報をお寄せ頂き、共有することが可能となる。

独自の視点で発掘してはという点は、スタッフの情報網の拡大が課題と感じており、今後取り組んでいけるように検討していく。

■ 2019 年度の編成方針に関して

委員

4 月から東京市部で朝に放送する「おはよう AI ニュース」が区内エリアでも立ちあげて欲しい。理由は人員の問題でしょうか？

事業者

人員不足による体制の問題。しかし、墨田区をはじめ台東区、葛飾区、江戸川区エリアでは 4 月から放送開始する。未放送エリアについては今後、体制を整えてから検討したい。

事業者

一度に全エリアでの番組立ち上げは難しく、地域でやるべき事を確認して成果や効果を確認してから実施したいと考えているのでご理解頂きたい。

委員

有事の際の対応を考慮した AI ニュースは良い試みだと思う、地域に根ざした災害報道は心強い。特番で年に 1 つで良いのでストーリー性がある感動的なドキュメントを制作して頂きたい。

委員

AI ニュースで現在の課題として感じている事はあるか。アナウンサー出演では出来ないだろうか

事業者

朝の AI ニュースは多摩、日野、八王子エリアで 1 月にスタートした。過去に文字テロップで情報を流した経験もあるが、朝の多忙な中で画面を見続ける事は難しく、音で伝える事が効果的だと考えている。

夕方のデイリーニュースもあり、現在の人員で朝夕にてアナウンサー出演のデイリーニュースの実施は難しく、朝は AI スタイルで実施する事をご理解頂きたい。また、有事の際にはアナウンサーと AI を併用する事で 24 時間放送が可能となる。

事業者

有事の際には BCP や会社の資源の活用方法を踏まえて対応策を考えて参ります。

これまで熊本地震や北海道胆振東部地震など地域に起こった災害に対して、全国のネットワーク、人員を集中する形で地域のご要望に答えてきた実績がある。広域災害についての対応は課題を残している。

AI など、新たな技術を取り入れながら、様々な事態に対応する体制を今後も整えて参ります。

以上